



2018年9月7日
東京地下鉄株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

東京メトロ×JR東日本共同プロジェクト

「TOKYO SPORTS STATION」の第4シリーズが始まります！！

東京地下鉄株式会社(代表取締役社長：山村明義、以下「東京メトロ」)と東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」)のオフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)として、東京2020大会の各競技の見どころ・観戦ポイントを紹介する「TOKYO SPORTS STATION」の第4シリーズを開始いたしますのでお知らせいたします。

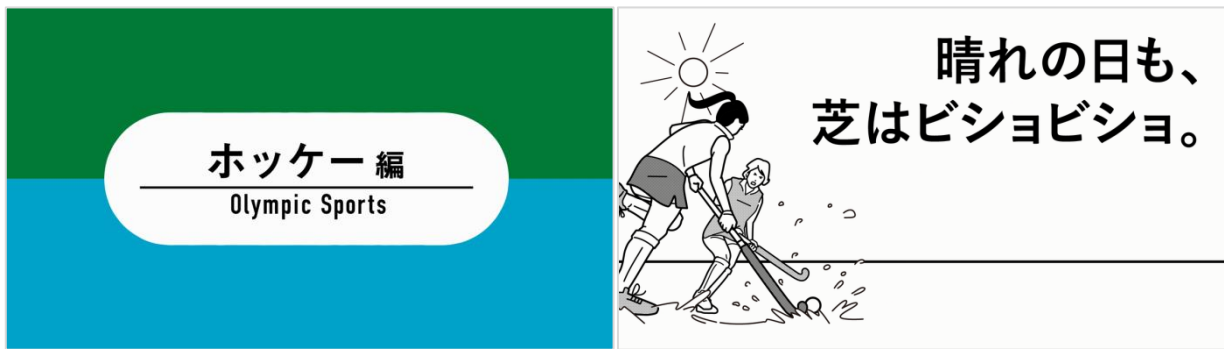
「TOKYO SPORTS STATION」は電車内のビジョンを中心に放映するほか、特設YouTubeチャンネルにてこれまでの放映分も含めてご覧いただけます。

皆さまの移動時間を更に楽しんでいただけるものとなっておりますので、ぜひご覧ください！

- | | | |
|---|------------|--|
| 1 | 主 催 | 東京メトロ、JR東日本 |
| 2 | 概 要 | 「TOKYO SPORTS STATION」第4シリーズ：2018年9月10日(月)～ |
| 3 | 第4シリーズ紹介競技 | #14 ホッケー
#15 バレーボール
#16 体操 |
| 4 | 動 画 展 開 | 東京メトロ：Tokyo Metro Vision
JR東日本：トレインチャンネル
※特設YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/c/TOKYOSPORTSSTATION
からもご覧いただけます。(2018年9月7日(金)14:00以降順次公開) |
| 5 | ポスター展開 | 東京メトロ、JR東日本の電車内にポスター掲出 |

■ 「TOKYO SPORTS STATION」競技紹介（#14 ホッケー）

・動画



・ポスター



Tokyo 2020に
乗り遅れないための

TOKYO SPORTS STATION #14



YouTubeで
動画も公開中!

ホッケー編
Olympic Sports

**晴れの日も、
芝はビショビショ。**



人工芝の上で、ボールを打ち合う「ホッケー」。特徴的なのは、試合前にフィールドに水がまかれること。人工芝を濡らしてボールの滑りを良くすることで、地を這うような鋭いシュートを可能にしています。

**前傾姿勢で、
10キロ
走りきる。**



約90cmの「スティック」でボールを操るため、前傾姿勢でプレーし続ける選手たち。負荷のかかる姿勢にも関わらず、運動量の多い選手になると、1試合に10km以上も走りきってしまうというから驚きです。

**超至近距離で、
時速200キロ。**



ホッケーのシュートは、ルール上、ゴールから約15m以内の「サークル」から打たれ、しかもその速度は、トップ選手では時速150～200km近くにもなると言われます。高速シュートに反応するゴールキーパーの驚異的な反射神経に注目です。

【ホッケーとは?】
縦91.4m、横55mのフィールドで、直径7.5cmのボールを相手ゴールへ入れて得点を競う球技です。各15分の4クォーター制で、スティックを使ってドリブルやパスを行い、ボールを前線へと運びます。華麗にボールを操るテクニックと、スピード感あふれる攻防が魅力の競技です。

【競技会場】
大井ホッケー競技場
(大井町区中央市民会館に隣接する施設です)
(2018年8月現在の情報です)



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)